

第214回 信用保証利用企業動向調査

(2022年7～9月期実績、2022年10～12月期見通し)

福岡県信用保証協会（本所：福岡市博多区 会長：山崎建典）は、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区 代表取締役総裁：田中一穂）と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次回の発表は2023年2月を予定しています。



— 今回の調査 —

【調査時点】	2022年9月中旬
【調査対象】	1,869企業
【有効回答数】	540企業（回答率28.9%）
【調査方法】	封書によるアンケート調査



～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

**「県内信用保証利用企業の景況は、
持ち直しの動きに一服感が見られ、厳しい状況が続いています」**

生産・売上 小売業、サービス業で悪化し、特に小売業で大幅に悪化しました。

採算 卸売業、製造業を除く業種で悪化し、特に小売業、サービス業で大幅に悪化しました。

資金繰り 卸売業、製造業を除く業種で悪化し、特に小売業、サービス業で大幅に悪化しました。

借入難易感 建設業、サービス業で改善しました。

■ お問い合わせ先

保証統括部 保証企画課 廣瀬・小田 電話092(415)2609

URL : <https://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : h-suisin@fukuoka-cgc.or.jp



概況

総合DIの推移

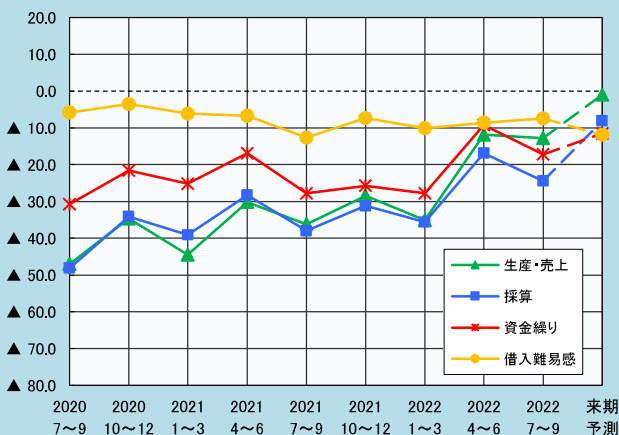
コメント ～全国と同様、福岡の景況も持ち直しの動きに一服感が見られ、厳しい状況が続いている～

今期調査(2022年7～9月期)による景況動向指数は、前期(2022年4～6月期)実績に比べ、全国値では、採算DIおよび資金繰りDIはマイナス幅がやや拡大、生産・売上DIおよび借入難易感DIは横ばいとなりました。

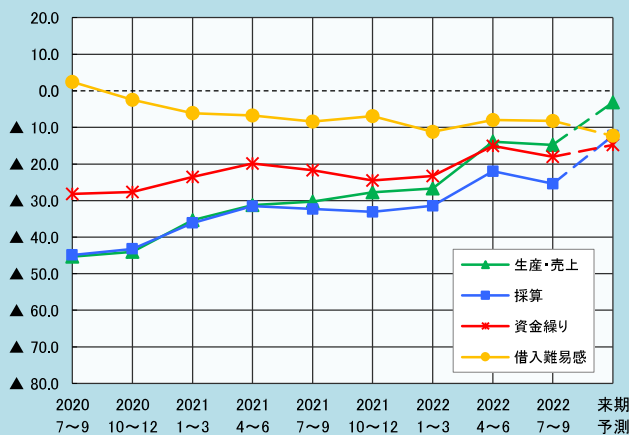
福岡では、採算DIおよび資金繰りDIはマイナス幅が拡大、生産・売上DIはマイナス幅がやや拡大、借入難易感DIはマイナス幅がやや縮小しました。

来期予測について、全国および福岡ともに、借入難易感DIが悪化する見込みとなっています。

福岡



全国



※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは・・・

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

TOPICS

◆新しい「福岡県中小企業振興資金融資制度」について◆

「緊急経済対策資金」に、コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響で経営の安定に支障が生じている中小・小規模事業者の皆さま向けの「物価高騰特別枠」を令和4年10月から取扱開始しました。

融資対象者	以下のいずれかに該当し、 コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響で経営の安定に支障が生じている 中小企業者 ①直近3か月の平均利益率(売上高総利益率または営業利益率)が過去3か年のいずれかの年の同期比 15%以上減少 していることについて、商工会議所または商工会の認定を受けたもの ②セーフティネット5号の市町村の認定を受けたもの ※②は、原油等の仕入価格の上昇等を起因するものに限りです。
資金用途	運転資金 ※既存借入の借換はできません。
融資限度額	3,000万円(既存の緊急経済対策資金と合算で1億円以内)
融資期間	10年以内(据置期間 2年以内)
融資利率	1.3%
信用保証料	0.0%(福岡県全額負担)
取扱期間	令和4年10月1日～令和5年3月31日協会受付分まで

● 最新情報につきましては、当協会ホームページをご覧ください。

福岡県信用保証協会

<https://www.fukuoka-cgc.or.jp/>



福岡県信用保証協会

本所保証統括部



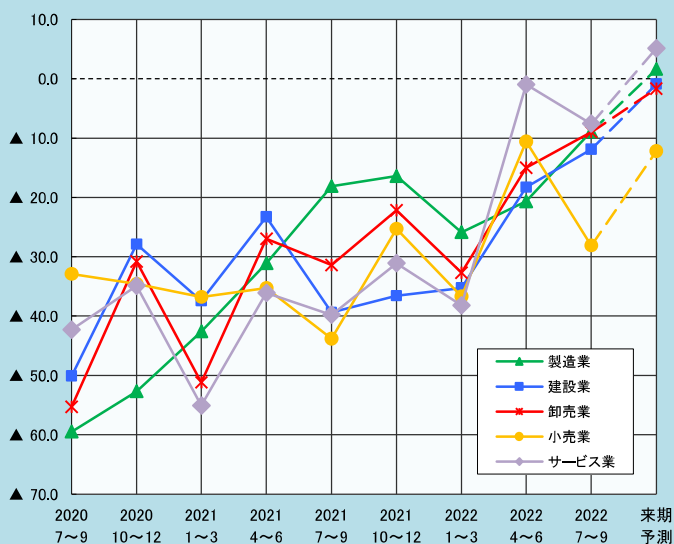
0120-112-249

生産・売上DI

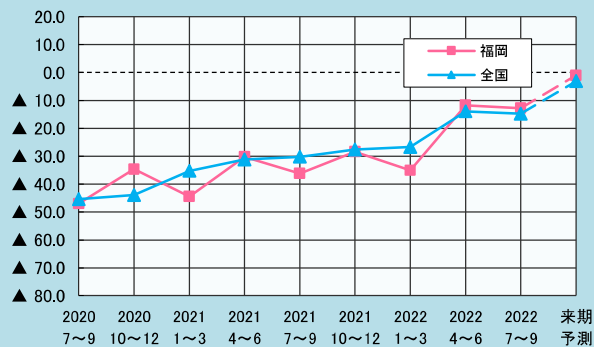
コメント ～小売業、サービス業で悪化し、特に小売業で大幅に悪化～

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ1.0ポイントやや悪化し、▲12.8となりました。
業種別では、前期実績に比べ、製造業は11.8ポイント大幅に改善し、建設業は6.4ポイント、卸売業は6.0ポイント改善しました。
一方で小売業は17.5ポイント大幅に悪化し、サービス業は6.6ポイント悪化しました。
来期予測では、全ての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績・売上DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績・売上DIの総合



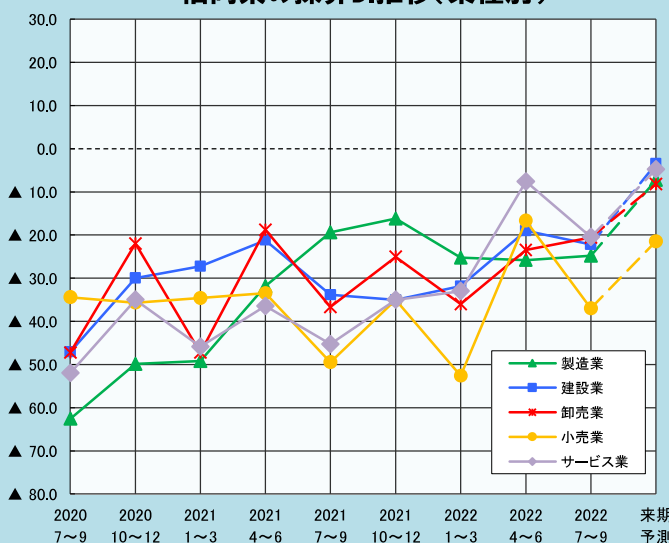
福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲2.2	▲12.8	▲1.0
製造業	▲17.3	▲8.9	1.6
建設業	▲1.7	▲11.9	▲0.9
卸売業	▲6.0	▲9.0	▲1.7
小売業	▲4.3	▲28.1	▲12.2
サービス業	7.8	▲7.6	5.1

採算DI

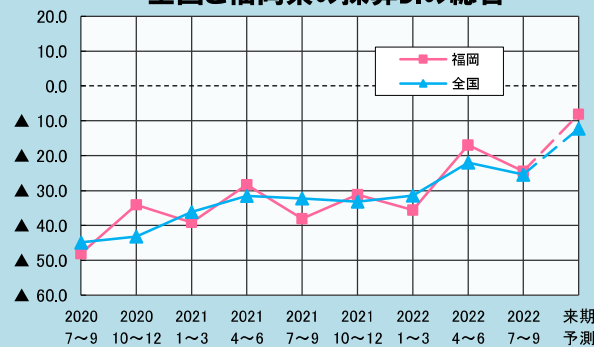
コメント ～卸売業、製造業を除く業種で悪化し、特に小売業、サービス業で大幅に悪化～

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ7.6ポイント悪化し、▲24.5となりました。
業種別では、前期実績に比べ、卸売業は2.9ポイント、製造業は1.0ポイントやや改善しました。
一方で小売業は20.3ポイント、サービス業は12.9ポイント大幅に悪化し、建設業は3.2ポイントやや悪化しました。
来期予測では、全ての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績・採算DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績・採算DIの総合



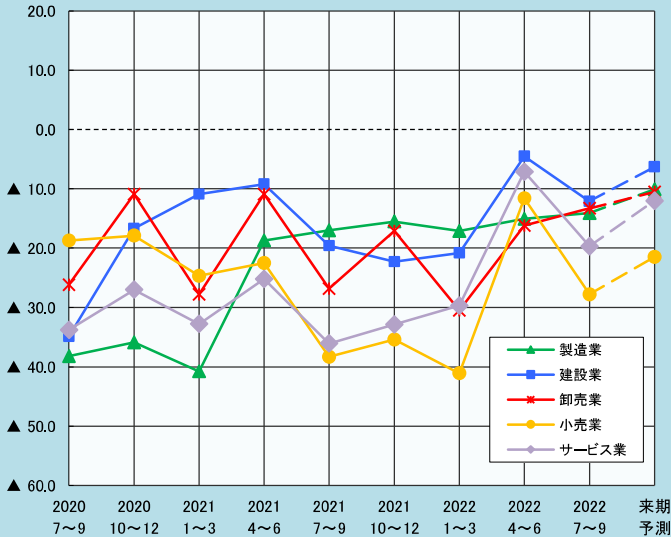
福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲9.1	▲24.5	▲8.1
製造業	▲22.1	▲24.8	▲7.3
建設業	▲12.6	▲22.2	▲3.5
卸売業	▲7.8	▲20.6	▲8.2
小売業	▲11.0	▲37.0	▲21.5
サービス業	1.9	▲20.5	▲4.8

資金繰りDI

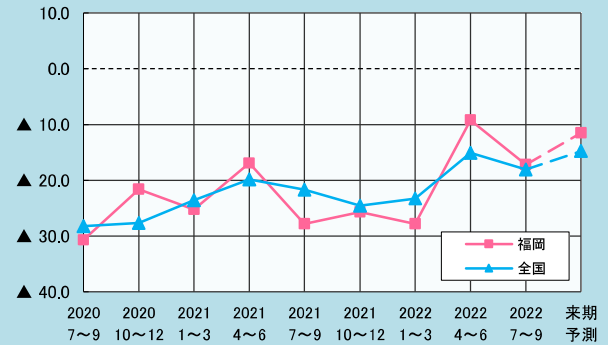
コメント ～卸売業、製造業を除く業種で悪化し、特に小売業、サービス業で大幅に悪化～

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ8.0ポイント悪化し、▲17.2となりました。
業種別では、前期実績に比べ、卸売業は2.9ポイント、製造業は1.0ポイントやや改善しました。
一方で小売業は16.2ポイント、サービス業は12.6ポイント大幅に悪化し、建設業は7.6ポイント悪化しました。
来期予測では、全ての業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



全国と福岡県の資金繰りDIの総合



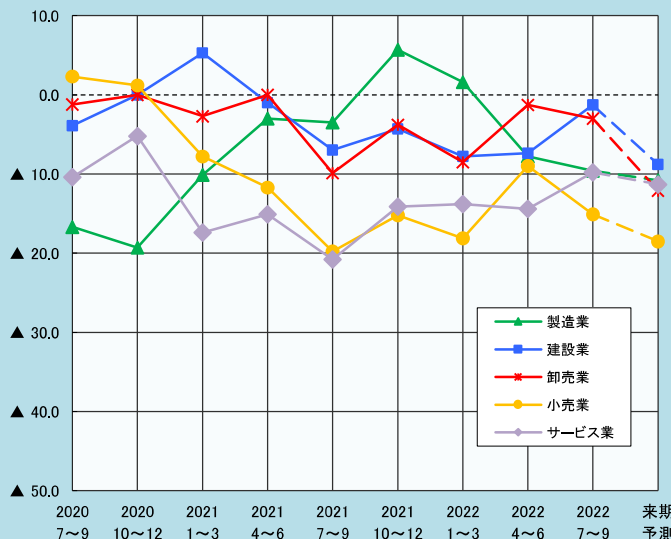
	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲12.0	▲12.0	▲17.2	▲11.5
製造業	▲18.5	▲18.5	▲14.1	▲10.1
建設業	▲8.6	▲8.6	▲12.1	▲6.3
卸売業	▲11.8	▲11.8	▲13.3	▲10.5
小売業	▲16.5	▲16.5	▲27.8	▲21.5
サービス業	▲10.1	▲10.1	▲19.7	▲12.0

借入難易感DI

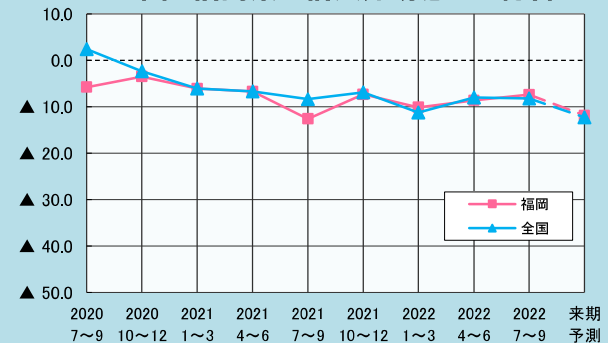
コメント ～建設業、サービス業で改善～

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績と比べ1.2ポイントやや改善し、▲7.4となりました。
業種別では、前期実績に比べ、建設業は6.1ポイント改善し、サービス業は4.6ポイントやや改善しました。
一方で小売業は6.1ポイント悪化し、製造業は1.8ポイント、卸売業は1.7ポイントやや悪化しました。
来期予測では、全ての業種で悪化する見込みとなっています。

福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



全国と福岡県の借入難易感DIの総合



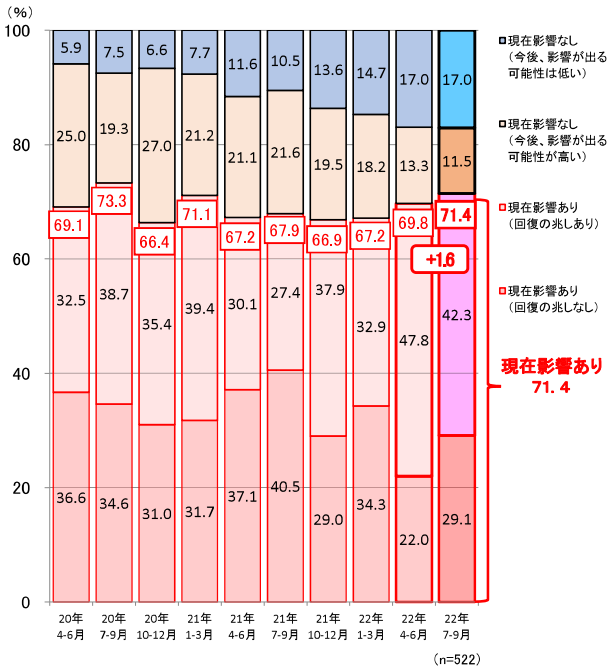
	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲13.1	▲13.1	▲7.4	▲11.9
製造業	▲20.5	▲20.5	▲9.6	▲10.8
建設業	▲10.1	▲10.1	▲1.3	▲8.8
卸売業	▲3.9	▲3.9	▲3.0	▲12.1
小売業	▲16.6	▲16.6	▲15.1	▲18.5
サービス業	▲14.9	▲14.9	▲9.8	▲11.3

新型コロナウイルス感染症の影響及び経営者保証に関する状況等について

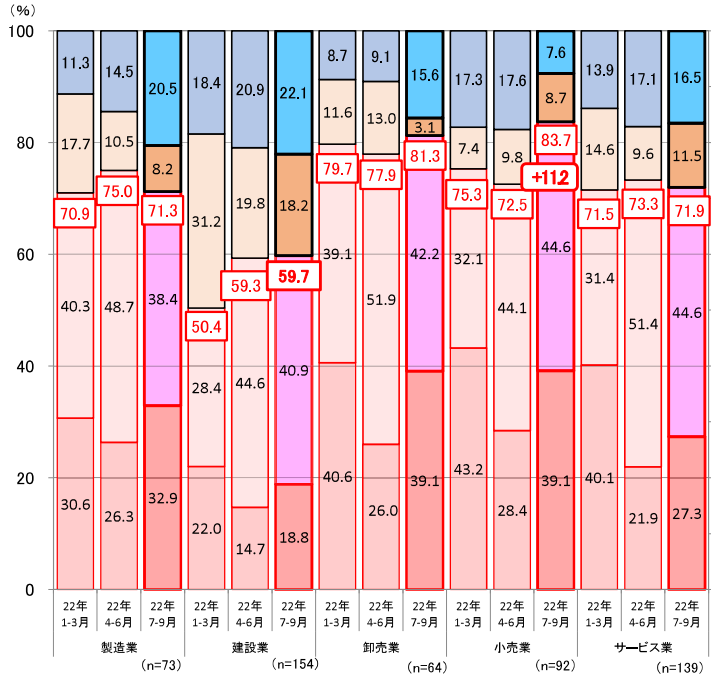
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- ・新型コロナウイルス感染症による企業活動へのマイナスの影響については、「現在影響あり」と回答した企業は71.4%と、前期と比べて1.6ポイント上昇し、20年4～6月期以降7割前後で推移している。
- ・業種別にみると、建設業は「現在影響あり」と回答した企業が59.7%と他業種と比べて低い。
- ・小売業は「現在影響あり」と回答した企業が前期と比べて11.2ポイント上昇している。

(1) 企業活動へのマイナスの影響



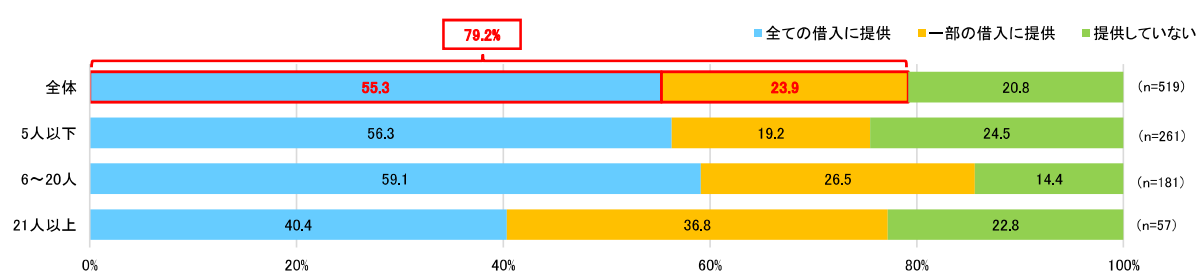
(2) 企業活動へのマイナスの影響【業種別】



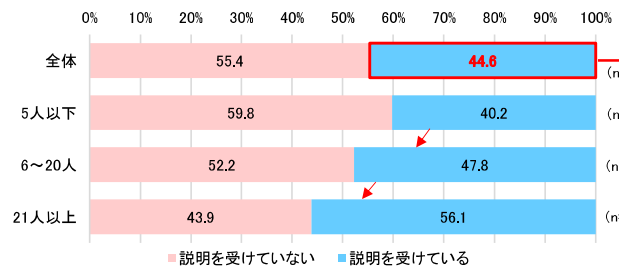
2. メインバンクからの借入に係る経営者保証の現状について

- ・メインバンクからの借入において経営者保証を提供している割合は79.2%となっている。
- ・「経営者保証に関するガイドライン」*に基づく経営者保証提供の必要性や解除の可能性の説明については、「説明を受けている」が44.6%となっている。
- ・従業員規模別にみると「説明を受けている」の割合は、従業員規模が大きくなるほど高くなっている。
- ・説明方法については、「口頭説明と資料配布の両方」の割合が49.6%と半数を占めている。

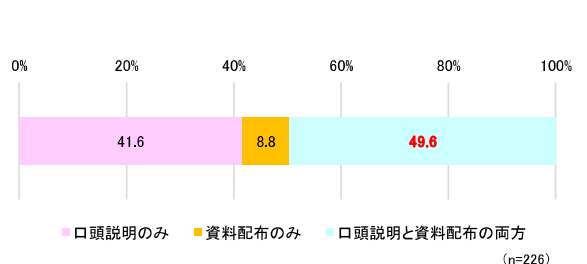
(1) メインバンクからの借入に係る経営者保証の提供状況【従業員規模別】



(2) 「経営者保証に関するガイドライン」に基づく経営者保証提供の必要性や解除の可能性に関するメインバンクからの説明状況【従業員規模別】



(3) (2)で「説明を受けている」と回答した企業への説明方法

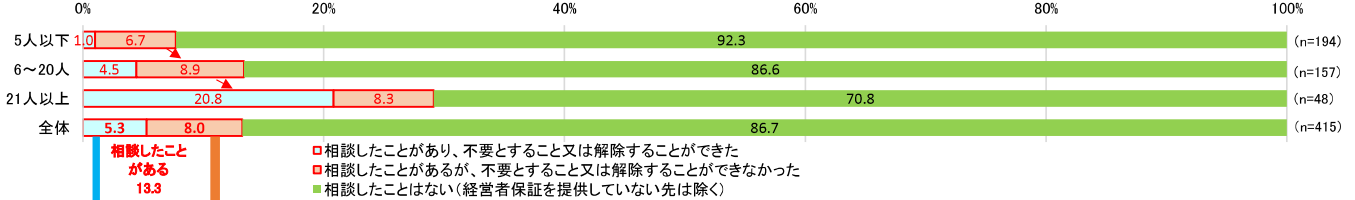


(※)「経営者保証に関するガイドライン」とは、中小企業・小規模事業者等の経営者保証について、保証契約を検討する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における、中小企業・経営者・金融機関の自主的なルールを定めたもの

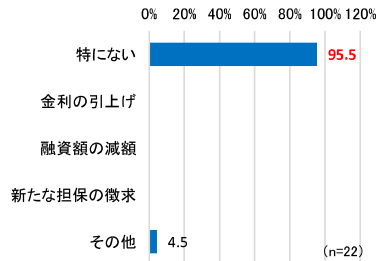
3. メインバンクへの経営者保証の提供(不要とすること又は解除すること)に関する相談結果について

- ・メインバンクへの経営者保証の提供(不要とすること又は解除すること)に関する相談結果については、「相談したことがある」が13.3%となっている。
- ・従業員規模別にみると「相談したことがある」の割合は、従業員規模が大きくなるほど高くなっている。
- ・経営者保証を不要とすること又は解除することにあたっての条件については、「特になし」が95.5%と最も多くなっている。
- ・経営者保証を不要とすること又は解除することができない理由については、「具体的な説明があった」が42.4%となっている。具体的な説明内容については、経営者保証ガイドラインに基づく経営者保証解除の3要件の一つである「財務内容・業績が不十分」が30.0%となっている。また、3要件以外では「担保での保全が不十分」が30.0%と最も多い。説明内容の納得感については、「納得することができた」が70.0%となっている。

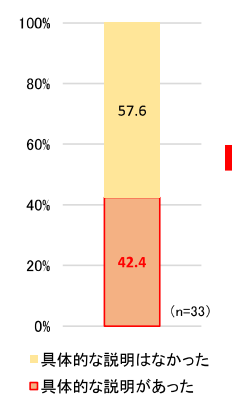
(1) メインバンクへの経営者保証の提供(不要とすること又は解除すること)に関する相談結果【従業員規模別】



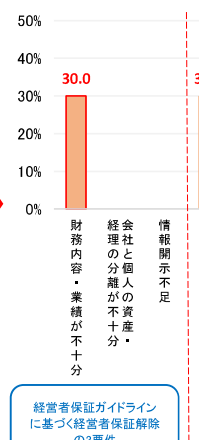
(2) (1)で「相談したことがある、不要とすること又は解除することができた」と回答した企業への、経営者保証の提供が不要又は解除されるにあたっての条件



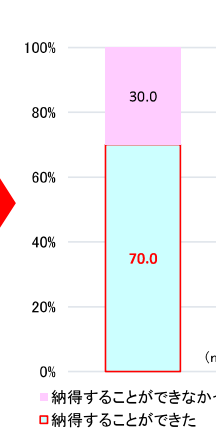
(3) 不要とすること又は解除することができない理由の説明の有無



(4) 具体的な説明内容



(5) 説明内容の納得感

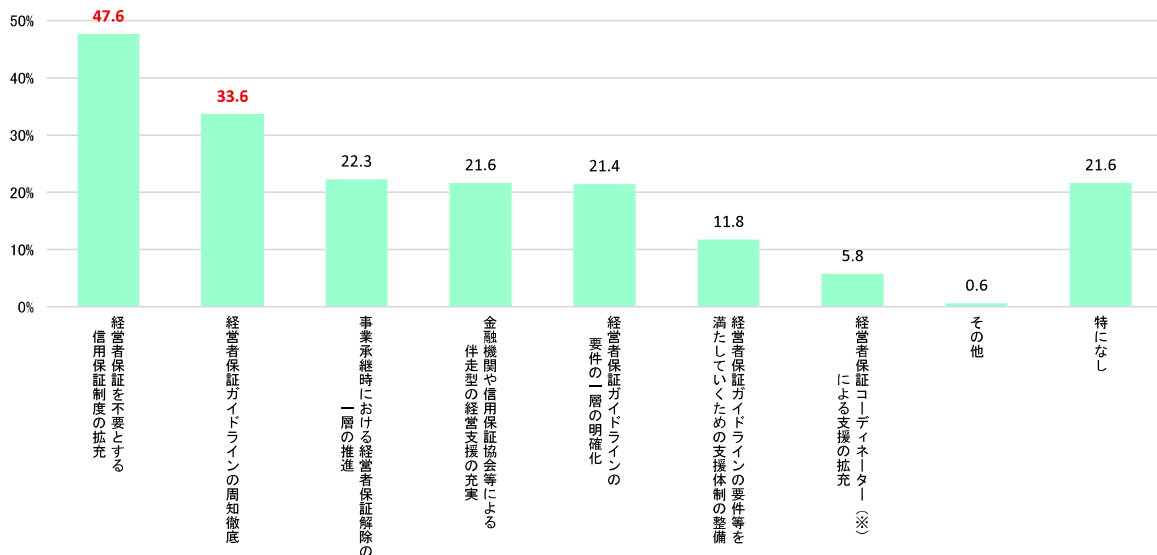


(注) (2),(4)は複数回答のため、合計は100%を超える。

4. 今後、経営者保証を不要とすること又は解除することを推進していくにあたり、期待すること、必要と思うこと

- ・今後、経営者保証を不要とすること又は解除することを推進していくにあたり、期待すること、必要と思うことについては、「経営者保証を不要とする信用保証制度の拡充」が47.6%と最も多く、次いで「経営者保証ガイドラインの周知徹底」が33.6%となっている。

○今後、経営者保証を不要とすること又は解除することを推進していくにあたり、期待すること、必要と思うこと



(※)事業承継時の経営者保証の解除に向けた取組みを支援するため、全国47都道府県に設置され、チェックシートを活用した経営者保証ガイドラインの充足状況の確認や磨き上げ支援等を実施している。

(注)複数回答のため、合計は100%を超える。

(n=485)